

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	母子寡婦福祉会運営補助事業					②事業番号	4715
③事業類型	7. 負担金・補助金事業			④開始年度	— 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○ 要綱	計画等	その他	法令等の名称: 泉南市母子・寡婦福祉会に対する補助金交付要綱
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	3	項	2	目	3	細目 6
⑨担当部名	健康福祉部			⑩担当課名	家庭支援課		会計 一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市母子寡婦福祉会	会員数(4月1日現在)	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
生活資金の貸付や、ひとり親クリスマス会等行事を開催し、母子家庭並びに寡婦の生活向上と福祉増進を図ることを目的とする泉南市母子寡婦福祉会の運営・活動を支援するため助成を行う。	① 大会・行事等開催等回数	回
	② 会議等開催等回数	回
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
母子家庭等の生活の安定を図ることができる場として、泉南市母子寡婦福祉会の活動が継続できるようにする。	① 大会・行事等参加延べ人数	人
	② 会議等出席延べ人数	人
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
母子家庭等が生活上、困難が生じないよう支援できる。	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	1 子どもと大人が夢や希望を持ち、ともに成長できるまちをめざします
	施策中	2 子育てしやすい環境の整備
	施策小	7 ひとり親家庭への支援

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込	R4目標	
対象指標①	会員数(4月1日現在)	人	229	229	213	215	220	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	大会・行事等開催等回数	回	19	18	3	6	18	
活動指標②	会議等開催等回数	回	47	48	9	15	48	—
活動指標③								
成果指標①	大会・行事等参加延べ人数	人	256	243	46	92	243	
成果指標②	会議等出席延べ人数	人	210	206	42	75	206	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	81	77	76	76		—
	直接事業費	千円	233	231	226	226		
	総事業費	千円	314	308	302	302		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	314	308	302	302		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	母子家庭等の生活の安定を図ることに対する機運が醸成されてきたため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	近年の経済情勢の悪化に伴い、母子家庭等を取り巻く環境は、厳しさを増しており、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的とする泉南市母子寡婦福祉会の果たす役割は重要性を増すと考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている ア イ. ある程度 ウ. いない	母子家庭等の生活の安定と向上を図ることを目的とする泉南市母子寡婦福祉会の活動への支援は、上位施策に通じ不可欠である。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている ア イ. ある程度 ウ. いない	大会等へも積極的に参加し、会員相互で情報の共有化を図り、また、適切に相談等に応じるなど、会員の福祉増進につなげている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある ア イ. ない	母子家庭等の一層の生活の向上を図れるよう、会員加入を促進し、組織の強化検討の余地がある。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし ア イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	各種大会等への参加、法令に基づいた諸制度の情報交換、相談等多岐にわたる活動が求められ、経費削減の余地はない。また、補助金交付事務は、職員一人で行っているため、削減は困難である。
--	----------------	--

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理
	A	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
イ	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—